



平成 27 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 ア ゼ ア ス 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 黒 田 良  
 (コード番号：3161 東証第二部)  
 問 合 せ 先 取締役執行役員総務経理部 羽 場 恒 彦  
 部長  
 (TEL. 03-3865-1311)

## 業績予想の修正及び投資有価証券売却益(特別利益)計上に関するお知らせ

平成 27 年 6 月 10 日に公表いたしました、平成 28 年 4 月期第 2 四半期(累計)及び平成 28 年 4 月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。また、当社及び当社子会社が保有する投資有価証券の一部を売却することにより、投資有価証券売却益が発生いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

平成 28 年 4 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 27 年 5 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,230	百万円 34	百万円 36	百万円 29	円 銭 5.00
今回発表予想(B)	4,660	△54	△51	14	2.53
増減額(B-A)	△570	△89	△88	△14	
増 減 率 (%)	△10.9	—	—	△49.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年4月期第2四半期)	4,892	75	77	73	12.20

平成 28 年 4 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 27 年 5 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,619	百万円 △5	百万円 1	百万円 1	円 銭 0.17
今回発表予想(B)	3,604	△47	△41	16	2.79
増減額(B-A)	△14	△42	△43	15	
増 減 率 (%)	△0.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年4月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、平成27年4月期第2四半期においては、個別の四半期財務諸表を開示していないため、平成27年4月期第2四半期の個別経営成績の記載をしておりません。

平成 28 年 4 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 10,740	百万円 136	百万円 140	百万円 91	円 銭 15.45
今回発表予想（B）	10,630	120	125	114	19.49
増減額（B－A）	△109	△16	△14	22	
増 減 率（%）	△1.0	△11.8	△10.5	24.8	
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 4 月期）	10,328	174	180	112	18.49

平成 28 年 4 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,540	百万円 71	百万円 86	百万円 47	円 銭 7.98
今回発表予想（B）	8,129	91	103	96	16.37
増減額（B－A）	589	20	17	48	
増 減 率（%）	7.8	28.8	20.3	103.0	
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 4 月期）	7,709	89	109	63	10.53

修正の理由

（1）第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正理由

防護服・環境資機材事業におきまして、ほぼ予想通りの売上の見込みであります。原価高騰に伴う価格改定が進まず当初見込みの利益率を下回る予定です。たたみ資材事業においては、需要の低迷の長期化により、売上予想を下回る見込みです。また、アパレル資材事業においても、メンズカジュアル部門の売上が低調に推移したため、当初予想には及ばない見込みです。加えて中国子会社の売上が低調であったことにより、連結での売上高は前回発表予想額を570百万円下回る見込みです。

利益につきましても、売上が前回発表の業績予想を下回る見込みであるため、営業利益で89百万円、経常利益で88百万円下回る見込みですが、投資有価証券売却益等の特別利益の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円予想を下回る見込みです。

（2）第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、（1）の 第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正理由と同様の理由です。

（3）通期の連結及び個別業績予想について

通期の個別業績につきましては、各事業とも第 2 四半期累計期間の業績を挽回すべく営業体制の見直しを実施予定です。また、防護服・環境資機材事業において今後、官公庁等の大口案件等の需要の取り込みを図る予定であり、個別業績予想は、前回発表に対し、売上高で589百万円、営業利益で20百万円、経常利益で17百万円、当期純利益で48百万円上回る見込みです。一方、連結業績予想については、第 2 四半期連結累計期間の中国子会社の低迷の影響が大きく、前回発表に対し、売上高で109百万円、営業利益で16百万円、経常利益で14百万円それぞれ下回り、親会社株主に帰属する当期純利益のみ投資有価証券売却益等の影響で前回発表を22百万円上回る見込みです。

## 投資有価証券売却について

### (1) 売却理由

政策保有株式の見直し及び財務体質の強化を図るため。

### (2) 投資有価証券売却の内容

当社及び当社子会社保有上場有価証券1銘柄について平成27年9月に売却することにより、連結で75百万円、個別で63百万円の投資有価証券売却益（特別利益）を計上します。この投資有価証券売却益については、上記の業績予想の修正に織り込んでおります。

(注) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上